

増える環境過敏症！！

(株)ワイドワーク

環境過敏症 って何でしょう？

化学物質や電磁波、超低周波音などの悪影響を強く受けてしまう体質といえます。

2011年11月21日～23日の読売新聞、暮らし欄の医療ルネサンス “続・増える環境過敏症” 2/4 回の記事には下記のように掲載されておりました。

『福島県の南西部に位置する緑豊かな南会津町。ここに、化学物質や電磁波の影響に悩む人たちを対象とした町営避難施設『あらかい健康キャンプ村』がある。』

『開設は2007年。建物は、化学物質を含まない木材を使い、携帯電話の電波が届かない場所に建てた。』

『同施設管理人のAさんも、「過敏症」の経験者だ。横浜市で会社を経営していたが、04年、事務所に無線LANを導入した途端、体中に湿疹が出た。数ヶ月たっても治らず、頭痛や耳鳴りも続いた。病院で自律神経の乱れがわかり、「電磁波過敏症の可能性がある」と指摘された。以降も、蛍光灯を点けると苦しくなるなど症状が悪化。合成洗剤のにおいで、吐き気を催し、化学物質過敏症の症状も表れた。』

『家族と離れて神奈川県箱根町の古いマンションに移り、電気のブレーカーを落として生活した。その時、本で知ったのが食事による体質改善。早速、有機野菜中心の食事に変え、半年で劇的に回復した。「今は日常生活に支障はない。発症時は過労や外食続きで身体が弱り、電磁波などの影響を受けやすかったのかも」と振り返る。』

そして、医療ルネサンス “続・増える環境過敏症” 4/4回で、ふくずみアレルギー科院長の吹角隆之先生が答えます。

Q&A

『 ー 化学物質や電磁波が、なぜ身体に影響するのでしょうか？

「詳しくは解明されていませんが、刺激に敏感な人がいるのは確かです。悪化すると、自律神経や内分泌のバランスが乱れ、だるさや不眠症状が表れたり、免疫力の低下で感染症にかかり、微熱やせき、頭痛が続いたりします。過敏症の原因は化学物質や電磁波だけではありません。」 』

『 ー ほかにどんな原因があるのですか？

「ストレス、睡眠不足、ダニやカビ、重金属、栄養の偏り、運動不足、大気汚染、ウイルス・細菌など、様々な原因が積み重なって発症します。体質を風呂桶に例えると、化学物質や電磁波、ストレスなどの“蛇口”から風呂おけに注がれる水が、容量を超えてあふれると過敏症になります。アレルギー体質の人はもともと風呂おけが小さく、あふれやすいのです。」 』

『 ー 治療できますか？

「化学物質や電磁波の少ない環境でしばらく過ごし、食生活や運動、睡眠など生活主観を見直す必要があります。携帯電話の電磁波は避けられなくても、“別の蛇口”を閉めることで体調を崩しにくくなります。」 』と、いうことでした。

規則正しい生活を送ろう、生活習慣を見直そう、ということなのでしょうね。

でも、現代を生きる人たちはなかなか難しい。そんな方々のために一助となれば幸いです。

電子機器の気になる所にドンドン貼り付けて電磁波を防ぐ、電磁波・ノイズ吸収シート“ノイズフセージ”携帯電話にも貼り付けてみませんか！ 詳しくはコチラ⇒ <http://www.widework.co.jp>